

□ 今後3～4年で取り組むべき区間の考え方

優先的に取り組む地域のタイプ

タイプA：市街化調整区域で未着手区間がまとまって存在する地域

- ・周防灘岸部（6号線、白野江線など）
- ・北九州中央部（4号線、5号線など）
- ・八幡西南部（香月直方線、野面木屋瀬線など）
- ・洞海湾北部（修多羅竹並線など）
- ・若松西部（12号線、割子川岩屋線など）

タイプB：地域開発プロジェクトと一体となって道路網を検討する必要がある地域

- ・周防灘岸部（新空港・空港跡地）
- ・北九州中央部（都心、副都心）
- ・八幡西南部（地方拠点都市地域）
- ・若松西部（学術研究都市）

タイプC：13の強化箇所等について、隣接市町村や地元等から、道路網見直しの要望が高い地域

- ・周防灘岸部（6号線など）
- ・北九州中央部（4号線・5号線など）
- ・八幡西南部（香月直方線など）
- ・洞海湾北部（修多羅竹並線など）
- ・若松西部（12号線など）

今後3～4年で取り組むべき区間

- ・周防灘沿岸部
- ・八幡西南部
- ・若松西部
- ・北九州中央部
- ・洞海湾北部

優先的に取り組む地域のタイプ

